

成田市

60

年

の記憶

昭和29年3月31日、成田町を中心に公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の1町6村が合併し、県下11番目の市として、成田市が誕生しました。そして平成18年3月27日に大栄町、下総町と合併し、現在約13万の人口を有する北総地区の中核都市として発展してきました。今日まで成田市は60年という歳月を辿りました。流れゆく時の中で先人たちが刻んだ足跡を訪ねます。

1町6村の合併により、成田市が誕生

合併前夜

昭和28年9月1日、町村合併推進法が制定され、全国的に合併への機運が高まりました。印旛郡でも成田町を中心とした合併が模索され、当初は富里村（現富里市）、安食町（現栄町）を含めた2町7村での合併が考えられました。その後、富里村と安食町は離脱し、昭和29年1月14日に1町6村で合併協議会を設置。「合併基本要領」では、「対等での合併」「新市名は成田市」「市役所は成田町役場とし、旧町村役場は支所として残す」などの取り決めがされました。

成田市の誕生

昭和29年3月31日、人口4万5,075人の成田市が誕生しま

した。当日は成田小学校講堂で初の市議会が開催され、旧町村の議員117人が集まりました。

4月、初の市長選挙が行われ、旧成田町長の石原貞三氏が当選。市長就任挨拶で氏は「成田市は観光と農業を生命といたします」と所信表明しています。7月6日には市制施行祝賀式が成田小学校講堂で挙行されました。

昭和30年の夏、成田高校野球部が夏の甲子園出場を決めました。新市誕生から間もない快挙に市民は大いに盛り上がり、壮行会は盛大を極めました。

昭和33年10月には手狭になっていた旧成田町役場に代わる新市庁舎が完成。700人ももの来賓を迎えて新市庁舎落成式が挙行されました。

昭和29年○1954

- 3月 ● 1町6村が合併して「成田市」誕生
- 4月 ● 初の市長選挙、初代市長に石原貞三氏
- 5月 ● 「市章」制定

- 「成田市政だより」が創刊
- 荒木照定大僧正げいさ下を名誉市民に推挙
- 成田市連合婦人会が発足
- 成田赤十字病院、本町から飯田町へ移転
- 7月 ● 市制施行祝賀式、提灯行列ちようちんを挙行
- 旧町村消防団が合併し市消防団を結成
- 11月 ● 第1回成田市農業祭が開催

昭和30年○1955

- 2月 ● 第1回成田市消防団出初め式
- 滑河町、小御門村、高岡村の1町2村が合併して「下総町」誕生
- 3月 ● 第1回成田市市議会議員選挙
- 4月 ● 大須賀村、昭栄村の2村が合併して「大栄町」誕生
- 5月 ● 成田市初の保育園が永興寺えいこうじ（寺台）に開園
- 8月 ● 成田高校野球部、甲子園の全国大会出場
- 11月 ● 成田市商工会が発足

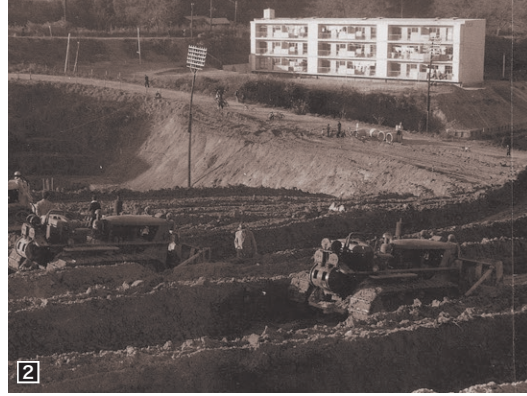
昭和31年○1956

- 4月 ● 国民健康保険制度を市内全域に施行
- 11月 ● 市長選挙で藤倉武男氏当選、藤倉市政がスタート
- 成田市文化協会が発足





1 市制施行祝賀式が成田小学校講堂で挙行される
2 新庁舎建設用の整地工事
3 京成成田駅の新駅舎
4 甲子園で入場行進する成高ナイン
5 新庁舎が完成



プレイバック
あの日・あの時 ①

夏の甲子園出場(昭和30年)

市制施行の翌年となる昭和30年、成田高校野球部が大活躍しました。春の選抜では延長13回に及ぶ激闘の末、銚子商業に惜敗しましたが、当時甲子園大会の前哨戦として行われた県下4校でのリーグ戦では優勝を勝ち取ります。

県大会では、エースでありながら大会新記録となる1大会5本塁打を放った牧野を中心に、平山、一鍬田らの強力打線が火を噴きました。千葉三高、佐倉一高、安房一高を次々と破り、決勝で千葉一高を下し見事優勝。続く南関東大会でも川口高校、安房一高、鴻巣高校を破って優勝を飾り、戦後5度目となる甲子園出場

を果たしました。新市誕生から間もない快挙に市民は歓喜し、壮行会は盛大を極めました。

選手たちは新勝寺に必勝を祈願して甲子園での試合に臨みました。1回戦は不戦勝で、続く2回戦では大分の津久見高校と対戦。前半は健闘したものの得点につながらず、10対0と大量得点を許す結果となり、奮戦及ばず2回戦で敗退しました。



試合を前に記念撮影する成高ナイン

- 昭和32年 ○1957
 - 3月 ● 土屋に市営と畜場が完成
 - 6月 ● 台風5号で根木名川の堤防決壊などの被害
 - 7月 ● 成田市農業委員会が発足
 - 12月 ● 三里塚簡易水道が完成
- 昭和33年 ○1958
 - 4月 ● 市庁舎建設の竣工式
 - 6月 ● 一般市民対象の医療無料巡回がスタート
 - 9月 ● 京成成田駅舎(現駅舎)が完成
 - 10月 ● 市庁舎落成と市制施行5周年記念式典を挙行
- 昭和34年 ○1959
 - 6月 ● 山之作に市営火葬場が完成
 - 9月 ● 成田市区長会連合会が発足
 - 11月 ● 根木名川改修工事着工
- 昭和35年 ○1960
 - 7月 ● 成田山が国鉄の周遊指定地に
 - 10月 ● 市長選挙で藤倉武男氏が再選
- 昭和36年 ○1961
 - 8月 ● 吉倉にゴミ焼却場が完成
 - 9月 ● エスエス製菓の進出決定
- 昭和37年 ○1962
 - 4月 ● 千葉、水戸線が1級国道(51号)に
 - 10月 ● 市内唯一の鉄筋校舎、成田小学校が完成
 - 11月 ● 八代花内遺跡から東日本初の玉作工房址を確認
- 昭和38年 ○1963
 - 1月 ● 正月の交通規制がスタート
 - 5月 ● 並木町地先に不動橋が完成
 - 6月 ● 集中豪雨で大被害
 - 11月 ● 宗吾簡易水道が完成